

「検診」と「診療」の違いって？

「検診」	「診療」
対象 ●健康で生活に支障なし ●病気の可能性は低い ●見つかるがんは多くが早期がん	対象 ●症状があり困っている ●病気の可能性が高い

→ 検診を受けていないと
自覚症状が出てから病院へ

進行がんが発見される可能性大！

がん検診、受けていますか
 がん検診に関する誤解
Q 自覚症状がなければ 受けなくてよい？
A がん検診は症状がない健康な人が対象です。
 がん検診では、早期がん、つまり症状が出る前のがんを発見し治療することが重要です。そのため、対象者は自覚症状のない、健康な人になります。
 これに対し、自覚症状がある人が病院で受ける検査は「診療」にあたります。

★**がんを防ぐための(新)12か条★**

- 1条 たばこは吸わない
- 2条 他人のたばこの煙を避ける
- 3条 お酒はほどほどに
- 4条 バランスのとれた食生活を
- 5条 塩辛い食品は控えめに
- 6条 野菜や果物は不足にならないように
- 7条 適度に運動
- 8条 適切な体重維持
- 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条 定期的ながん検診を
- 11条 身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
- 12条 正しいがん情報でがんを知ることから

Q がん検診は定期的に必要ながあります。
 がん検診は、一度受けて終わりではありません。一回の結果が異常なしであっても、その後がんができる可能性があります。がんをタイムリーに見つけるために、検診を定期的に受けることが大切です。
 現在、日本では5つのがん検診が有効な健診として推奨されています。その有効性に加えて、検診のメリット・デメリットのバランスを検討して、対象となる年齢や受診間隔が定められています。
がん検診の受診間隔
 胃がん検診 ……1年に1回
 肺がん検診 ……1年に1回
 大腸がん検診 ……1年に1回
 子宮頸がん検診 ……2年に1回
 乳がん検診 ……2年に1回

がんを防ぐために
 がんは多数の要因が複雑に重なり合って、長い時間がかかって発生する病気です。また、これさえ守れば絶対にがんにならないという方法もありません。
 がんを防ぐための新12か条は、ひとつの目安と考え、今の生活をチエックし改善しましょう。



国による風しん追加対策！
風しん抗体検査・風しん定期接種を無料で受けられます

対象者 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
検査および接種費用 町が発行するクーポン券を利用することで無料となります。
実施方法
 ●平成31年度は「昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性」に対して、町からご案内とクーポン券を送付します。
 ●町から届いたクーポン券を利用して、まずは①風しん抗体検査を受けていただき、抗体検査の結果、②十分な量の抗体がない方は、定期接種の対象となります。

後期高齢者
歯科健康診査のお知らせ
 歯ぐきがブヨブヨしている。会話や食事でもむせることなどありませんか？
 町では、後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾患を予防し、健康の保持増進を図るために、歯科健診を実施しています。ぜひ、1年に1回は口腔チエックを行い健康(口)生活を送りましょう。

対象者 受診日において、町内に住所を有する後期高齢者医療被保険者の方。
 ※6か月以上継続して入院している方や、養護老人ホーム、介護保険施設等に入所または入居している方は対象とならないのでご了承ください。

受診期間 4月1日(月)～翌年の3月31日(火)まで
 できるだけ、早めの申込みと受診をお勧めします。
自己負担金 400円(治療が必要な場合は別途治療費がかかります)。
実施医療機関 町が委託する後志管内の歯科医療機関(小樽市を除く)。
申込み・問合せ
 子育て・健康推進課(旧保健課) 栄養指導係 ☎21-2122

問合せ
 子育て・健康推進課(旧保健課) 健康推進係 ☎21-2122
 ※現在、実施に向け準備をしています。準備が整いましたらホームページ等でお知らせします。